%6·8£	% <del>\u00bb</del> .\u00e4	战平国全
%1.29	%5'8	战平内県
%5.822	%S.81	上歌町
率出吐食来评	率出費責公賈実	要率7.2.须平

。みかまりありな変わり以外がい → 一週でるなべいる、なすまりるへて一郎回 これは新成27年の情報ですので、徐々に まてでなる率出い高を最、約ずて県。下文 熱散を示する可能性の度合いを示す指標 来符 、J 小帯計を高数ので高部限の等<u></u>世段 大学」は、将来支払っていく可能性のある ます。比率でいうと、上都町は県下で2番目 いつれな言と「マトラ無響」 くるえ話を200 「コ内部一。下う帯部のもれる見るなるいフ <u> でましてれる動型野の3%削削物一の3な金</u> 別の表述の等金部お3 「率以費責公買実」 。すず懇様いし濁い常報、グ出る

世帯のて県軍兵の会割お沢状波視ので滞土

11,582 Å **∀876** %0.24 合属の土以煮29● □人の競41~0● 30年後 ※2015年時点 **72'57** √989**ʻ**t 34.3% □人心焉41~0● 合隱の土以藏29●

動情郵 > で基コ (素公月£ 辛24 双平) を一ての「祝琛冊題問口人・劑料会卦立国」※

れからも続けていきます。 こる財実策攻な益すい帯上フcさる鑑意態 間の~五則ブノチ、点財の~来来、紅水 °77777777

<u> 著書</u>。を書え路多%0 4 約合階るめ占込在の 吝嗇局 、J 心漸入 0 0 0 ₽ 0 1 令 約 口入 。 す ず調状の来未の資辛055週状の主要な図の す。すず時間かり横端をする静域です。
する時間がある。

現在

# 。すづ姿の来未么狀既の郡上が休ら

町政報告のポスティングをしていると、 たくさんの人から質問を受けます。

「なんでしんどいのに、わざわざチラシ配ってるん?」

それに対する答えは、ただ1つです。

「町民のみなさんに、本当の上郡を知ってほしい」からです。 残念ながら、多くの議員が上郡の本当の状況を 町民のみなさんに伝えることができていない現状があります。 あなたには、本当のことを知る権利があります。

この町政報告には、町の現実が書いてあります。 そして、上郡がこのままいったときの未来も書いてあります。 「上郡町は非常に危険な状態だ。」 以前お配りした町政報告で、そうお伝えしました。

私一人が、そうやって声を上げても仕方ありません。 あなたに、気がついてほしいんです。 あなたに、声に出してほしいんです。 「上郡を救いたい。」と。

まだ間に合います。

「どうすればいい?」を考えるは私たちです。 あなたが、上郡の未来を救ってください。



えれば、上郡には利用可能な遊休資材がた くさん転がっているということです。

現在、世界的にシェアリングエコノミー という考え方が広がっています。簡単に言 うと、今空いている物件やモノを人と共有 するという考え方です。上郡町には空いて いる土地や物件が多くあり、その使い方は

無限大ということです。

全国各地で様々な試みが行われています。 佐賀県では、お城をみんなで使えるように したり、京都府では、空き家を若者に貸す などしており、そういった優良事例を上郡 にももたらしていくべきです。空いてる土 地でのお祭りの実施など地域に活気をもた

らすことが急がれています。



# ビジョン:住みよい町・上郡の実現

町政報告第1号と第2号を通して、私は 上郡町の現実、未来や、あるべき姿を伝え させていただきました。確かに上郡町では 少子高齢化や人口減少などが進み問題が山 **積みです**。私はこの 4 年間、それを打開す べく「空き家バンク」の設立を始め、様々 な政策実現を進めてきました。そして、町

ぼす。 | この二軸をもとに、6月議会から も政策提案を続けていきます。

今のままでは、未来に負担を先送りして しまう政治が続いてしまいます。それでは いけません。今ある問題にしっかりと目を 向け、そして未来の世代へ負担を残さない 街づくり。それこそが私の思う理想の政治 民の皆様に町の現実を知っていただくため に「借金時計」の提案などをし、見える議 会の実現のために上郡で史上初となる「議 会報告会」の実施に努めてきました。しか し、まだまだ改革は必要です。

住みよい町・上郡の実現のため、「地域 に活気をもたらす。」「議会に変革をおよ

であり、上郡町のあるべき姿です。



## ミッション:議会に変革を!

議員の仕事はあまり知られていませんの でこの場を借りて少し説明をさせていただ きます。現在、日本では二元代表制という 考えのもと、行政(役場)と議会の両輪で 政治を進めるという形になっています。基 本的には行政側から予算案や議案が提出さ れ、それを議員が町民の代表として、予算

の使い方などを監視するという仕組みに なっています。だからこそ、行政に対して は、是々非々の姿勢をとる必要があります。 町にとって必要なことは全面的に支え、そ うでないことにはしっかりと意見を言う、 それが本来の議員のあるべき姿です。

現在の上郡町議会では、時間をかけて話

し合うべきことに、時間をかけなかったり と、その政治に対する姿勢が疑われる部分 <mark>があります</mark>。1年以上かけて話し合うべき ようなことですら、1日で終わらせるよう なありさまです。今こそ、議会に変革をも たらし、あるべき姿の上郡町議会を取り戻 すべきです。そのことが、結果として上郡 を前に進めることにつながります。



中

貸

出



## お気軽にご連絡ください

町政に対する疑問・不満から、町政報告に関する意 見や感想、どんな小さなことでもかまいません。 ご連絡いただきましたら、日程を調整の上、直接お 伺いいたします。「政治なんて誰がやっても同じ」 と諦める前に、まずはご連絡ください。

nakayama.t0707@gmail.com

## ●プロフィール

中山竹信(なかやまたけのぶ) 昭和35年7月7日生まれ(56歳)

船坂小学校 / 上郡中学校 / 県立龍野実業高校 卒業 家族は妻と息子4人。

趣味はバスケットボール、バドミントンと読書。 2011年の上郡町議会議員補欠選挙において初当選。 現在3期目で、副議長などを歴任。

□ nakayama.t0707@gmail.com

♠:上郡町八保甲141-1 Twitter: @takesan0707

## ●編集後記

前回お配りした町政報告第1号が非常に反響が大 きく、制作側としてはとてもうれしいかぎりです。 多くの人に上郡の現状を知ってほしい。その気持ち 一つで、ありのままを書き綴りました。

多くの方にご協力もいただきポスティングもさせ ていただきました。本当にありがとうございました。 これからも、一枚でも多く皆様のもとに届くように 努力していきます!

企画・編集・デザイン:中山竹信 / 印刷:株式会社グラフィック 発行元:中山たけのぶ後援会 /